

## 今週（5月13日から5月17日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、日銀当座預金残高は390兆円台半ばでの推移となった。積み最終週となり、週初から信託・地銀業態からの積極的な調達が見られ、強含む展開となった。16日からの新積み期に入ってからは一転して様子見となり、落ち着いた取引となった。無担保コールO/Nの取引レートは、都銀・地銀業態は、▲0.080～▲0.020%、信託・証券業態は、▲0.075～▲0.020%と幅広いレンジでの出合いが見られた。無担保コールO/N加重平均レートは、13～15日が▲0.02%台での推移、16～17日が▲0.06%台での推移となった。ターム物に関しては、1W～1Mで▲0.045～▲0.020%の散発的な出合いが見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは17日に2W物・15,000億円がオファーされ、623億円（期落ち額1,522億円）と札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のGC T/Nは、積み期間最終日と新しい積み期間を挟む週となり、その前後でレート水準が大きく変わった。概ね▲0.110～▲0.055%程度のレンジで推移した。週初13日のGC T/Nは▲0.070～▲0.055%程度、14日は▲0.090%～▲0.065%程度となった。新しい積み期間となった15日（16-17日の取引）は▲0.115～▲0.100%程度、16日は▲0.115～▲0.085%程度、17日は▲0.100～▲0.085%程度で推移した。

SCは個別銘柄では5y137～139、10y334～354、20y166～168、30y59～62、40y10～11等に引き合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、動意なく閑散だったものの、先週からの入札ラッシュを経て水準感が定まったことから、小じっかりで推移した。

14日に実施された短国買入オペは、7,500億円でオファーされた。平均落札利回較差+0.015%、按分落札利回較差+0.006%と、引け値の低い銘柄の在庫調整の売りから小甘い結果となった。

16日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.170～▲0.168%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1603%、按分落札利回▲0.1553%と、WI取引ほどの強さは見られない結果となった。セカンダリーマーケットでは、▲0.159～▲0.157%の出合いと按分レート近辺で推移した。

17日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.1525～▲0.151%で出合う展開となる中、平均落札利回▲0.1527%、按分落札利回▲0.1463%と、前回債からレートが上昇する結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、▲0.152～▲0.150%出合いと底堅く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、13日と16日こそ五・十日の応当日であったために、商社・鉄鋼・化学・電機機器・ゴム等の業態から大型の発行が見られ、両日とも発行額は2,000億円台となったものの、それ以外は発行案件が少なく静かなマーケットとなった。週間の発行量は、償還総額6,400億円程度に対して、発行総額6,600億円程度と償還額と発行額に大きな差はなく、市場残高も16日時点で19兆6,921億円と先週からほぼ横ばい圏で推移している。発行レートは、大型連休前のキャッシュ潰しニーズの剥落から、連休前ほど低下し辛い状況となっているが、0%では投資家の買いニーズが相当量あるため、浅いマイナスから0%の狭いレンジでの決着が中心であった。

CP等買入オペは、16日に予定通り2,500億円でオファーされた。手持ち玉入れ替えのための売りニーズや、特定の銘柄が買入対象となったことなどから、按分落札レート▲0.001%、平均落札レート0.004%と按分・平均ともに前回（按分▲0.002% 平均0.001%）から上昇する結果となった。また、今月は月3回から2回のオファーに変更となっているが、5月の買入総額自体に変更はなく、買入結果への影響は見られなかった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/13 (月)	21,191.28	△ 0.050	109.75	△ 0.028	△ 0.060	3,943,900
5/14 (火)	21,067.23	△ 0.055	109.58	△ 0.023	△ 0.070	3,952,100
5/15 (水)	21,188.56	△ 0.055	109.65	△ 0.025	△ 0.111	3,967,700
5/16 (木)	21,062.98	△ 0.065	109.46	△ 0.066	△ 0.111	3,975,600
5/17 (金)	21,250.09	△ 0.060	109.94	△ 0.068	△ 0.099	3,960,800

## 来週（5月20日から5月24日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/20 (月)	1-3月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	流動性供給 6,000億円 5/21発行			
5/21 (火)					4月の米中古住宅販売
5/22 (水)	長崎県金融経済懇談会において原田審議委員講演 3月の機械受注統計(内閣府 8:50) 4月の貿易統計(財務省 8:50)	20Y 9,000億円 5/23発行	交付税借入 10,500億円 5/31借入		4月の英消費者物価指数
5/23 (木)					4月の米新築一戸建て販売件数
5/24 (金)	4月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 月例経済報告(内閣府)	TB3M 42,800億円 5/27発行	流動性供給 4,000億円 5/27発行	交付税借入 10,500億円 6/4借入	4月の米耐久財新規受注

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/20 (月)	2,000	1,200	3,200	国債買入 全店共通 CP買入	▲ 1,500 ▲ 400	2,200 600	900	4,100	TB3M発行▲43000償還43400 TB1Y発行▲19000償還14900 変動15Y償還5900 エネルギー対策借入▲8500期日8000
5/21 (火)	0	▲ 5,000	▲ 5,000	CP買入		2,500	2,500	▲ 2,500	流動性供給▲6000
5/22 (水)	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
5/23 (木)	▲ 1,000	▲ 9,000	▲ 10,000				0	▲ 10,000	20Y発行▲9000
5/24 (金)	▲ 1,000	1,000	0				0	0	交付税借入▲10500期日10500
週間合計	0	▲ 12,800	▲ 12,800	—	▲ 1,900	5,300	3,400	▲ 9,400	

5/20は日銀予想、5/21以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、財政等要因の大きな動きが予定されておらず、引き続き落ち着いた取引が予想され、取引レートは低位横ばいで推移すると考えられる。レポ市場は、GC O/N物は▲0.110～▲0.080%程度での推移を予想する。短国市場は、24日に3M物の入札が実施予定となっており、レート水準など市場動向が注目される。CP市場は税・配当の資金需要から大量発行が見込まれる5月末を控えて、今週同様落ち着いたマーケットが予想される。発行レートは、オペレートの上昇を受けて、引き続き浅いマイナスから0%の狭いレンジで推移すると思われる。

主要なイベントとしては、国内では20日の1-3月期のGDP1次速報、24日に4月の全国CPI、海外では22日に4月の英国CPIが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入